

新一年生のみなさんへ

5月になり、気候もかなり暖かくなりました。はやく学校を始めるために「stay home」に協力してくれていることと思います。

前回の「新入生準備のしおり」のプリントをもとに「自分で学ぶ」に取り組んでいますか？

「自分で学ぶ」ことは、好きな分野でも実は難しいことなのです。ですから、挑戦したことがまず大切です。

「失敗した」と思ったら、挑戦に対して「〇〇が失敗だった」という結果が出たということです。それは大人の世界では「自分が成長する財産」です。失敗だったと思ったところを変更したり、思い切ってやり方を変えたりすればよいのです。それが「自分で学ぶ」ことで、上級学校や社会に出て必要な基本の力です。

ですから「勉強は好きじゃない」とか「できない」と思っても、好きじゃないことをどれだけ自分のものにしようとしたか、好きじゃないものの中でも悪くないと思える部分を全力で探すことができたかが大切です。

「できない」のはまだ「やり方が自分に合ってなくて「わかる」にたどり着けないだけ」かもしれない。もしかしたら、一か月くらい嫌々だけれども無理やり強化月間を作って取り組んだら、はじめの時より苦勞しないのできるようになるかもしれません（自分の頭の中に、そのやり方専用の引き出しを作るとちょっとやりやすくなります）。

「勉強」には、「将来の自分を考え・挑戦する」ことも含まれます。これは「自分で学ぶ」こと。自分ががんばれることは何か、世の中がどうなっているのか、などを知って就きたい仕事や切り拓きたい生き方（仕事も含みます）を探すことです。これには時間がかかることが多いのです。今、stay homeの時に、関心があることをとことん掘り下げたり、広げたりしてみましょう。それは、自分の生き方を決める時に必要な力で、何かにくじけそうになった時に、自分を支える力になるものです。

もちろん基礎・基本の勉強も、ちゃんとできるように先生たちや区の教育委員会の方々が考えてくださっています。

ただ「出されたプリントを埋めただけ」ではなく「自分で学ぶ」をいろいろ試してみてください。「こんなことにくわしくなったよ！」「自信がなかったところがちょっと自信ついたよ！」と「自分で学ぶ」に挑戦したみなさんに会うことを楽しみにしています！

もう一つ、「おうちのお手伝い」は実行できていますか？できている人は続けてください。そうでない人も必ずやりましょう。おすすめは「料理」と「片づけ」です。どちらも「全体を見る力」、段取りや見通しが必要です。この力に磨きがかかると、中学・高校生活も大人になった後も、豊かな生活を送りやすくなります。

保護者のみなさまへ

最後になりましたが、毎日ありがとうございます。学年の教員はみな、生徒のみなさんが登校できる日を楽しみにしております。不明な点や不安な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。できる限りお応えしていきたいと思っております。